


一般質問通告書

多可町議会議長 河崎 一 様
 多可町議会議員 清水 俊博 

平成 25 年 12 月 9 日
 受 午前
 9 時 27 分
 領 午後

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 「多可町創生の最終盤」その決意・工程表を問う	町長
<p>課せられた使命「持続可能な多可町の基盤づくり」と表され又、11月13日付の3選関連の記事でも財政の健全化を誓い「大変なことは覚悟のうえ」特に施設の統廃合に関し「これまでは旧町意識が強く施設、事業の整理ができなかった。だが今回は嫌われてもやらなければならない」又、今回の無投票での当選を「白紙委任ではない」批判の声にも真摯に耳を傾けると決意されている。所信表明に関し以下具体の策を問う。</p> <p>① 役場の事業展開にマネジメント手法を導入「成果」を求めるとあるが信賞必罰は如何に ② 指定管理4施設の廃止並びに各事業・施設の見直しに至るプロセス、その行程表は如何に ③ 合併特例債事業（簡素な新庁舎構想）、国県への要望事業（氷上IC～加西IC）構想は如何に</p>	
2. 直近選挙投票率の低下、現状認識と取組の具体策を問う (交通弱者の人たちへの参政権確保)	町長
<p>平成25年11月17日の町議会議員選挙投票率=67.41% 対前回▲10.44% 対合併時▲14.68% 本町は合併後、本年平成25年の11月17日に3回目の選挙が実施された。多可郡旧3町が合併され、更には平成21年4月1日には投票場所の統廃合が実施された。実施前の20ヶ所から11ヶ所へと▲45%の減となり約半数の大幅削減となった。所信表明でも明確に述べられているように鉄軌道、高速道路、国直轄の幹線国道がない大変希少な環境の本町。高齢者人口は25.6%を占め、いわゆる交通弱者が益々増加傾向にあります。独居生活「選挙には行きたいけれどいけない」町が議会が政治が益々遠くなる。切実な意見です。参政権の確保、対応対策が急ぎ必要なのではないでしょうか。以下その対応策を問う 必要なものには必要なんです。</p> <p>1) 交通手段=臨時バス、デマンドバス等 2) 場所=移動投票所、出前投票所 3) 投票方法=郵便投票の実施等</p>	
3. 急激な人口減少、喫緊の課題その取組策を問う (誇り得る多可町の未来図を如何に描くか)	町長
<p>本町人口の推移をみると対前月比、月毎に約30人が減少、年換算では約300人の減少があり我が町の平均的集落が1年で消えてしまっている。60年後には「多可町が消滅」そんな厳しい状況もみえてくる。近隣の町では集落同士の合併を余儀なくされ慣れ親しんだ故郷・集落の在り方そのものが変わり始めている。次世代へ誇れる町へ、今「まったなしの多可町」です。現状認識とその対応策を問う。</p>	

☆ 一般質問の通告期限は12月9日(月)午後0時00分までです。
 質問要旨はできるだけ詳細にお願いいたします。